

慈恩寺 Times

第17号

【発行】

寒河江市教育委員会 生涯学習課

【発行日】

平成27年10月20日（火）

【問合せ・ご意見等】

寒河江市教育委員会 生涯学習課 歴史文化係

TEL:0237-86-8231

E-mail:shogaku@city.sagae.yamagata.jp

慈恩寺の仏像は当時の最先端！



▲ 慈恩寺の仏像の先進性について講演する浅瀨氏

寒河江さくらんぼ大学歴史学部講座
「時代の先端を行く寒河江の仏像」
去る10月17日に、寒河江さくらんぼ大学歴史学部の第3回講座が開かれ、東京国立博物館の浅瀨毅（あさぬまたけし）氏から、慈恩寺や平塩熊野神社など寒河江市内に残る仏像等について講演をいただきました。浅瀨氏は、過去に京都国立博物館で行われた平塩熊野神社所蔵・伝十王坐像の展示にも携わられました。また、慈恩寺や平塩熊野神社に残る仏像等に注目され、それらが時代を先取りする当時の国内最先端様式の仏像であったことを研究により突き止めたことを発表しました。今年の1月～4月にかけて東京国立博物館で開催された『みちのくの仏像』展図録にも「寒河江の仏像の先進性」としてコラムを執筆されておられます。

また、浅瀨氏が京都国立博物館時代に偶然借用した三十三間堂の千手観音像の内、平安後期制作の一体（449号像）が、慈恩寺の釈迦如来像と全く同じ表情をしていることに気づき、慈恩寺にも都と同じく最先端の仏像が持ち込まれていたことを確信したというエピソードを披露されました。その他にも慈恩寺には制作当時最先端の仏像が残されており、撰家領として栄えた寒河江の豊かな文化を示すものであるとの説明に参加者は興味深く聴き入っていました。



国重文 阿彌陀（釈迦）如来坐像
（本山慈恩寺）

三十三間堂の仏像との比較から
慈恩寺の仏像の先進性を確信

浅瀨氏は、慈恩寺の仏像の先進性について、平安後期の作である釈迦如来像（指定名称は阿彌陀如来）、文殊・普賢両菩薩像、十羅刹女像等からなる「釈迦三尊」を例に解説。それらが、大群像として残っているのは全国で唯一であることに加え、各像が写実的で、目がつり上がる表情や鬚を高くする表現などが、後続する鎌倉時代に流行するスタイルであり、全国的に見ても極めて特異な仏像であると説明されました。

慈恩寺～臥龍橋コース

『新日本歩く道紀行100選』認定

この度、慈恩寺～臥龍橋を巡る道が「歴史と自然が調和する悠久の道」として標記100選（選考委員会 名誉顧問 石原信雄）に認定されました。

今後、各種メディアでの紹介や、ウォーキングツアー企画などでの活用が期待されます。詳細は、「新日本歩く道紀行100選」ポータルサイトをご覧ください。

（サイト URL <http://michi100sen.jp/>）



▲ 認定されたコース

達成
メーター

史跡慈恩寺旧境内
関連事業



・各種調査事業
・総合報告書作成
・文化庁へ
指定具申書提出

・文化庁が
文化審議会へ諮問

・文化審議会が文部
科学大臣へ史跡指
定答申

・文部科学大臣による
国史跡指定
（官報告示）

・保存活用計画策定
・整備計画策定

・整備事業開始

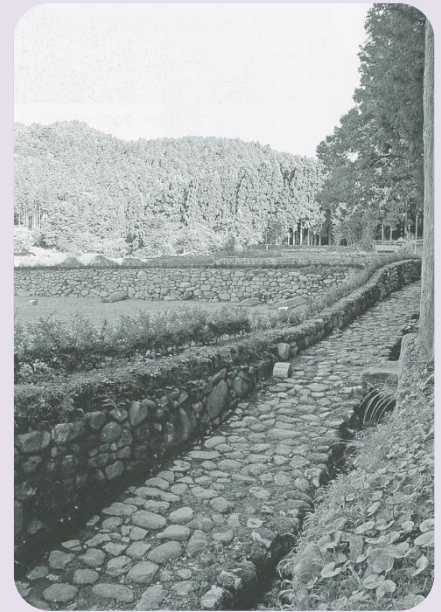


史跡内において、現在は失われてしまった構造物等を「復元」することができれば、視覚的に史跡の姿を理解することができ、多様な史跡活用を行えるようになります。ただし、「木の文化」である日本においては、構造物は非常に残りづらく、「復元整備」には慎重な調査を重ね十分な検証・裏付けが求められます。

白山平泉寺旧境内の史跡整備事業においては、それまでの調査で分かった遺跡の残存状況や史跡内の現状を踏まえ、Bゾーンの南谷エリアの一角において、歴史的建造物（坊院屋敷の門及び土塀）と、石垣等坊院区画や石敷道などの復元を実施しています。もちろん整備にあたっては、発掘調査を行い慎重に過去の情報を蓄積していきました。

歴史的建造物の復元に関しては、専門家の指導を受けながら発掘調査を実施し復元原案を策定。その後、国・県の指導や調査整備指導委員会での協議を経て、最終的に文化庁の2回の審議を受け復元工事に入っています。坊院区画・石敷道の復元整備では、実際の発掘調査で実際に検出された遺構をベースに復元しています。

平成20年度に整備計画がスタートし、復元完成は平成24年度と、約5年がかりの事業であったようです。



▲ 復元整備の様子
(上：門及び土塀、下：石敷道)

※写真 勝山市教育委員会 2014『史跡白山平泉寺旧境内総合整備報告書』より引用



◀ 復元予定地の発掘調査の様子
(左：門及び土塀、右：坊院区画)

— 慈恩寺 イベント情報 —

第3回慈恩寺講演会 「はじめての仏教」

慈恩寺は創建以来、法相宗、天台宗、真言宗など様々な宗派が取り入れられ、出羽国の仏教センターとして繁栄してきました。

「仏教」を知ること、慈恩寺の歴史が見えてきます。日本仏教史の第1人者である山形大学教授の松尾剛次氏を講師に、仏教についてわかりやすく解説していただきます。



日時／11月22日(日) 午後1時30分～午後3時00分
会場／寒河江市文化センター 2階 中公ホール
(寒河江市大字西根字石川西 333)
講師／山形大学人文学部教授 松尾 剛次 氏
演題「はじめての仏教」
※参加申込不要・入場無料
問合せ／寒河江市教育委員会生涯学習課歴史文化係
☎0237 (86) 8231



「未来に伝える 山形の宝」 シンポジウム 2015

“地域活性化のカギは
文化財!!”

「文化財で観光立国」を提言する、デービッド・アトキンソン氏(株式会社小西美術工芸社 代表取締役社長)をゲストに、文化遺産を活かした地域活性化につ

日時／11月7日(土) 午後1時～午後4時15分(開場12時)
会場／山形県生涯学習センター 遊学館ホール(山形市緑町1丁目2-36)
定員／300名 入場無料
申込方法／下記ポータルサイト、FAX(チラシ裏面申込書)
問合せ／山形県教育庁文化財・生涯学習課 ☎023 (630) 3342
詳細は「未来に伝える山形の宝」ポータルサイトでご確認ください。
サイト URL: <http://www.yamagata-takara.com/>